

帰依住職の

イツペー

チビラーサン

▶10

沖繩の年中行事

続・御願解き

前回に引き続き、旧曆

12月24日に行われる、御願解き(ウグワンフトウチ)

についてお話させていた  
きます。今回は、特に作  
法(準備する物)について  
の内容です。沖繩では地  
域によって、年中行事の作  
法が異なる場合があります。  
す。家庭によっては、この  
日、花米(ハナグミ)と呼  
ばれるお米や、洗米(アラ  
イグミ)と呼ばれる3回(7  
回などの場合もある)水で  
洗ったお米、塩(マース)  
を使用されることがありま  
す。

ある時、とても興味深い  
お話を耳にしたことがあり

ます。ウグワンフトウチの  
日にヒヌカン(火の神)に

## 最後にお米 幸せの種まき

お供えしたり、土地のお清  
めを行う場合に地面にまい  
たりする、花米・洗米・塩  
には地域によっては、ちょ  
っとした順番があるのだと  
か? あるおはあちゃん  
は、「一番がお塩。次が洗  
ったお米。最後が普通のお  
米だよ」とお話されていま

した。  
ワラビーっ子のみんな  
は、「どうせ地面にまいち  
ゃつたら同じだ」と思うか  
もしれませんが、「最初の  
お塩をまくのは、海水でお  
清めするという意味。次の  
洗ったお米も、洗う清める  
ことと同じ。でも最後にお

う?」。笑顔でお話される  
優しい言葉に、一つ一つの  
年中行事に意味を持たせ命  
の尊さを語る心を感じまし  
た。イツペー チビラーサ  
ン(とっても素晴らしいで  
すね)!

またこの日、ウブク(御  
仏供)と呼ばれる小高く  
盛った白飯を、蓮のつぼみ  
に見立ててヒヌカンにお  
供えする地域もあるそう  
です。目に見えない大切  
なものを敬う時、いろいろ  
な意味づけをして語り継い  
でいるんですね。みんなも  
沖繩の年中行事で不思議  
なことや興味をもったこ  
とがあれば、地域の詳しい  
人に聞いたりして調べてみ  
てね。

「逆に、お米からまいて  
しまつと、幸せの種の上に  
お塩を乗つけてしまうんだ  
から、そのお米は枯れてし  
まつかもしれないでしょ

「逆」に、お米からまいて  
しまつと、幸せの種の上に  
お塩を乗つけてしまうんだ  
から、そのお米は枯れてし  
まつかもしれないでしょ

まつかもしれないでしょ

職、タイムスカルチャーセ  
ンター「基礎から学ぶ沖繩  
の年中行事」講師)

(帰依龍照 球陽寺 住  
職、タイムスカルチャーセ  
ンター「基礎から学ぶ沖繩  
の年中行事」講師)

